

<http://www.shika-implant.org/>

インプラント
ニュース



since 1972
Japanese Society
of Oral Implantology

第9号

平成21年2月10日発行

Implant News No.9

(社)日本口腔インプラント学会会報

発行人 川添 堯彬 編集 (社)日本口腔インプラント学会広報委員会

事務局 〒105-0014 東京都港区芝2-30-11 芝コトブキビル301

TEL. 03-5765-5510 FAX. 03-5765-5516

【本号のトピックス】

Eメールアドレス：jsoi@peace.ocn.ne.jp

第38回学術大会報告・第1回口腔インプラント専門
医臨床技術向上講習会報告・第39回学術大会案内・
平成20年度名誉会員紹介・平成20年度表彰者紹介

第38回学術大会が盛大に開催される

第38回(社)日本口腔インプラント学会学術大会が、相浦洲吉関東甲信越支部長を大会長として、「ガイドラインを備えたインプラント治療」をメインテーマに、平成20年9月12日(金)～14日(日)の3日間にわたり、東京フォーラムで盛大に開催されました。

前回の第37回学術大会(熊本)では過去最大の3,400名を越える参加がありました。今回の学術大会ではこの記録をさらに大きく塗り替える約4,000名の参加がありました。本学会の会員数は年々増加しており、躍進を続ける本学会に相応しい盛大で活発な学術大会となりました。また、大会期間中の懇親会も盛大に行われ、会員間の親交を大いに深めることができました。

第38回学術大会の報告は、次ページに掲載してありますので、是非ご一読下さい。



開会式で挨拶する相浦洲吉大会長

第39回学術大会での事前参加申込(会費納入)・演題申込はすべて学術大会ホームページ上で行います。演題締め切りは、4月30日(木)23:50です。それ以降の受付はできませんのでご注意ください。

第38回 (社)日本口腔インプラント学会・学術大会 開催報告

大会長 相浦 洲吉

平成20年度、第38回(社)日本口腔インプラント学会・学術大会(9月12～14日、東京国際フォーラム)が“ガイドラインを備えたインプラント治療”というテーマのもと開催されました。

今大会は、これまでと幾つかの点で従来と異なっています。

第36回大会(平成18年)も関東・甲信越支部担当で日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第2講座の主管でした。本来ならば6年後に関東・甲信越支部の担当になるはずでしたが、将来への展望として学会本部が大会を主導していくために、東京すなわち関東・甲信越支部での再度の開催となりました(来年度からは学会本部の主導で開催されます)。主管は、これも従来は大学あるいは臨床研修施設が主管してきましたが、この度は関東・甲信越支部全体での主管というかたちをとりました。上記しましたように大きな変革を控えていますので、支部が一致協力して開催する方法をとりました。

この大きなテーマを考えますと、インプラント埋入という範囲にとどまらずインプラントの治療全体を構築するのに必要な専門学会からのご協力が必要であると考え、招待講演、公開講座としてプログラムしました。海外の大学、アジアの国々の現状からも、テーマに対して一助となるのではと企画しました。

市民フォーラム(藤田紘一郎先生・東京医科歯科大学名誉教授)も、東京という場所を考えると都民に情報が伝わるのかと心配しましたが、満席の状況でした。そして、各企画に対して本当に多くの参加を頂きました。

参加頂いた人数も“インプラント治療”の現状を表すように史上最高の3,944名でした。

最後になりましたが、日本歯科放射線学会、日本歯科麻酔学会、日本口腔検査学会、また各企画にご講演頂いた方々に深甚なる感謝を申し上げます。各企業の皆様には、業者展示、ランチョンセミナー等到大変多くのご協力を頂き感謝申し上げます。



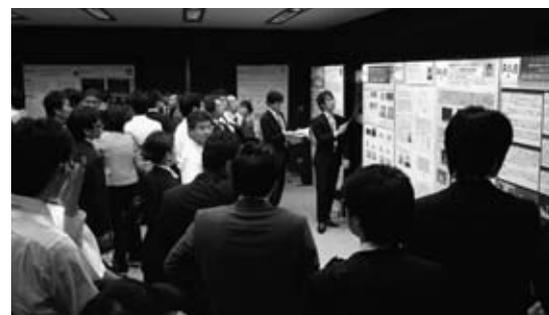
基調講演中の川添堯彬理事長



メインホール



人であふれる業者展示会場



ポスター発表会場

第1回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会 開催報告

教育委員会委員長 渡邊 文彦

12月20日(土)、21日(日)の2日間、社団法人日本口腔インプラント学会教育委員会が主催し、新潟県越後湯沢 NASPA ニューオータニを会場に、第1回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会を開催致しました。参加者は主催者も含めば150名で、指導医、専門医、これから専門医を目指す人、また認証医を目指す方々が参加し、合宿形式で行い、2日間の講演に対して熱い質疑や議論が行われました。この講習会の目的は、インプラント専門医の臨床技術の向上と、研修施設を超えた各先生方の連携とコミュニケーションにありました。現在、会員数も10,000人になろうとしております。これから会員数の増加は嬉しいことですが、反面、知識や治療技術の向上、治療に対するコンセンサスの一致が大切となると共にこれら治療技術を高めていくことはインプラント専門医としての使命であるとの考え方に基いております。講習会は日本の各地で開催、年間数回開催を予定し、今年度第1回の講習会を開催致しました。

今回は第1回目として、「適切な診断およびインプラント外科埋入手術」をテーマに、インプラント埋入術式に求められる解剖、インプラント治療の診断基準、医療安全と外科処置、骨移植と粘膜移植、上顎洞挙上手術と合併症、SACからみた症例の分類、インプラント治療に関わる医療問題と防御について現場で活躍されております7名の講師を迎え2日間にわたり実施致しました。日程は20日(土)の午後1時より受け付け、午後1時30分より開校式があり、川添堯彬理事長の挨拶の後、各演者1時間の講演を行いました。第一日目は4名の演者が講演を終了した後、明日の演者も含めて医療問題のご講演を頂く予定になっている顧問弁護士の若松陽子先生を除いた6名の先生方に、シンポジウム形式で教育委員の日本大学松戸歯学部口腔インプラント科加藤仁夫先生の座長でディスカッションが行われました。会場からは日常で直面している疑問

について次々と質問がだされ質疑が行われました(図1~5)。第1日目の終了時間は6時半で直ちに各部屋に分かれ、短時間でありましたが午後7時30分から懇親会が開催されました。懇親会は川添堯彬理事長の挨拶の後、参加された先生を代表して日高敏郎先生が乾杯の発声で始められました(図6)。各テーブルは席が決められておらず、自由な場所に座って頂き、各演者を囲んで議論の続きをして頂きました。各部屋はできるだけ異なる研修施設の方々とコミュニケーションをとって頂きたいと5名の相部屋とさせていただきます。参加された先生の中には不満の声もありましたが、主催者の目的の一つが“同じ釜のメシを食べ、共に寝て、コミュニケーションを図って頂きたい”ことからこのような形式とさせていただきます。各部屋では懇親会終了後も、インプラント治療に関して熱い議論を重ねていた部屋もありました。私もその中に参加させて頂き、午前1時頃まで出席された先生方の学会に対する期待、またインプ



図1 川添堯彬理事長の挨拶



図2 講演会場



図3 講演中の管井敏郎先生



図7 若松陽子先生による講演



図4 講演者とのディスカッション



図8 修了証の授与



図5 会場よりの質疑



図6 懇親会の様子

ラント治療、これからの後進の育成について熱い議論を重ねておりました。翌日は自由に朝食を取って頂き、午前9時より2名の講師の先生に1時間ずつの講演を頂き、昨日講演された先生も含めてシンポジウム形式で再度6名の先生方で1時間の質疑とディスカッションを行いました。熱い議論が行われましたが、時間の都合からストップさせて頂き、また次回で行って頂くことにしました。昼食の後、「インプラント治療に関わる医療問題」のテーマで顧問弁護士の若松陽子先生の

講演を1時間いただきました(図7)。今日多くのインプラント治療のトラブルが発生する可能性があり、これに対する予防、防止について詳細に講演頂きました。午後2時30分終了式が行われ、参加された先生方へ修了証が渡されました(図8)。

次回は同じく、適切な診断およびインプラント埋入手術のテーマで骨造成術の診断と術式の選択、術前のエックス線診査・診断、インプラント治療における病診連携等について講習会を3月20日(金・祝日)、21日(土)の2日間、東京ガーデンパレスで開催致します。

講師・演題名

2008年12月20日(土)

開会式

又賀 泉先生『インプラント埋入術式に求められる解剖』

高森 等先生『上顎洞挙上手術と合併症』

松浦正朗先生『インプラント治療の診断基準』

伊東隆利先生『医療安全と外科処置』

2008年12月21日(日)

河奈裕正先生『骨移植と長期予後』

管井敏郎先生『SACからみた症例の分類』

若松陽子先生『インプラント治療に関わる医療問題』

全体ディスカッション

認定委員会からの説明

第 39 回 (社) 日本口腔インプラント学会 学術大会案内

大会長 市川 哲雄

第 39 回 (社) 日本口腔インプラント学会学術大会は「インプラント治療における医療安全・安心」をメインテーマに掲げ、9月25日(金)から27日(日)の3日間にわたり大阪国際会議場にて開催されます。

インプラント治療は歯科におけるスタンダードな治療法として既に認知されておりますが、今後はその急激な進歩と展開により、強まる患者の要望に対して提供される治療方針の複雑化と、それに伴うトラブルの増加が危惧されています。このような現状に対し、本学会では大学での教育を含めたモデルカリキュラムの構築と、信頼される医療を提供するためのガイドラインの制定などを進めております。

本学術大会は、このようなパラダイムのなか、エビデンスに基づく安全・安心なインプラント治療を患者に提供することを目指して開催されます。

シンポジウムは3題を予定しております。シンポジウムⅠでは医療倫理について、シンポジウムⅡでは安全・安心な医療を提供するための歯科の各学会の取り組みを紹介します。また、シンポジウムⅢではインプラント治療におけるガイドラインを構築するためのエビデンスについて討議いたします。

海外からの特別講演ではドイツインプラント学会を代表してのご講演いただき、また、併せて国際セッション、ワールドサテライトセミナーも開催される予定です。

教育セミナーでは、基礎的見地からインプラント治療に必要なCTや解剖の知識を、臨床的な見地からインプラントの安定度を測る検査機器や外科手術について整理、再考していただく内容を提供いたします。

研究セミナーでは、我々の日常臨床で直面する可能性のあるバイオマテリアルとアレルギーについての最新知見を、基礎・臨床双方の専門家から様々な角度でお話しいただく予定にしております。

専門医教育講座、専門歯科衛生士教育講座、お

よび専門歯科技工士教育講座も併せて開催されます。ランチョンセミナー、ハンズオンも多数の企業のご協力をいただくこととなっております。

以上のように「インプラント治療における医療安全・安心」というメインテーマのもと、包括的な企画を用意しておりますので、会員の皆様の多くのご参加をいただきますようお願いいたします。

プログラムおよびその他詳細は本学会ホームページと学会誌にて順次公開していきますので、ご参照下さい。

主管：徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス
研究部 再生修復医歯学部門

顎口腔再建医学講座 口腔顎顔面補綴学分野

〒770-8504 徳島市蔵本町3-18-15

E-mail：39JSOI@dent.tokushima-u.ac.jp

一般演題の募集は1月5日から4月30日となっております。皆様から多くの応募をお待ちしております。



大阪国際会議場

平成 20 年度名誉会員紹介

内田康也先生が名誉会員になられましたので、
ご略歴等をご紹介いたします。



内田康也 先生

1936年3月14日生まれ

最終学歴

九州歯科大学歯学部

- 昭和 35年 8月 九州歯科大学助手
- 45年 3月 九州歯科大学助手辞職
- 48年 10月 歯学博士の称号授与
- 50年 11月 九州歯科大学教授
- 元年 4月 九州歯科大学附属病院長
(5年3月まで)
- 7年 7月 九州歯科大学附属図書館長
(11年3月まで)
- 11年 7月 九州歯科大学学長
- 14年 7月 九州歯科大学学長退職
- 15年 4月 九州歯科技工専門学校校長
(18年3月まで)
- 17年 4月 (財)福岡県人権啓発情報センター副理事長
- 20年 9月 福岡県市立学校審議会委員
- 20年 10月 九州歯科大学永松奨学会
理事長

学会活動：

- 昭和 62年 6月 九州支部総会 大会長
- 平成 10年 3月 九州支部総会 大会長

平成 20 年度表彰者紹介

学会特別賞受賞者

後藤一輔先生および長畠駿一郎先生が学会特別
賞を受賞されましたので先生のご略歴等をご紹介
いたします。



後藤一輔 先生

職歴等

1930年2月11日生まれ

日本歯科大学卒業

日本歯科大学 非常勤講師

松本歯科大学 非常勤講師

長野県歯科医師会 学術部常任理事

日本歯科医学会 評議員

日本歯科医師会 学術生涯研修委員

学会活動

日本口腔インプラント学会理事

日本口腔インプラント学会認定医・指導医

第8回関東甲信越支部総会・学術大会大会長

日本口腔インプラント学会関東甲信越支部支部長

日本口腔インプラント学会関東甲信越支部 監事



長畠駿一郎 先生

略歴等

1942年12月28日生まれ

1967年4月 岡山大学入局, 副手, 医員, 助

手、講師、助教授を経て

1983年4月 香川医科大学教授(現、香川大学)

2008年4月 香川大学名誉教授

学会活動

日本口腔インプラント学会理事(1991-2004)

日本口腔インプラント学会評議員(1976-)

日本口腔インプラント学会表彰委員会委員

(2003-2006, 2007-現在)

日本口腔インプラント学会試験委員会委員

(2006-2007)

日本口腔インプラント学会優秀研究発表賞選考

委員会委員(2007-2008)

日本口腔インプラント学会中国・四国支部長

(2002-2004)

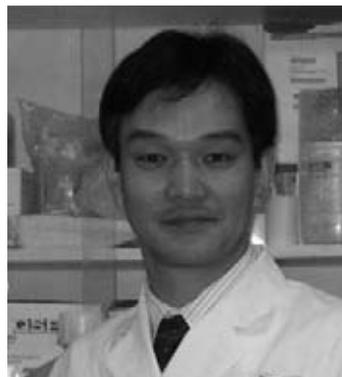
日本口腔インプラント学会指導医(1992)

日本口腔インプラント学会認定医(2003)

日本口腔インプラント学会第5回中国・四国

支部総会(1985), 第27回中国・四国支部総会・学術大会(2007)を高松市で開催。

学会優秀論文賞受賞者



竹内一夫
愛知学院大学歯学部
高齢者歯科学講座
(前 歯科補綴学第二講座)

この度は平成20年度日本口腔インプラント学会優秀論文賞をいただき誠に光栄に存じます。まずは、研究にご協力いただいた皆様やご選考いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

本研究は、ラット大腿骨に埋入したチタンインプラントの周囲組織に骨系のみならず軟骨系の細胞外基質であるII型CollagenやIX型Collagenの遺伝子発現の上昇を認めたと小川隆広らの研究に発想を得たものです。この現象をin vitro実験で捉えるために、機械加工と酸処理のチタンおよびポリスチレン上でラット骨髄間質細胞由来の骨芽細胞様細胞を培養し、骨芽細胞系と軟骨芽細胞/軟骨細胞系の遺伝子発現とSEMによる培養組織の形態的評価、およびEDXによる元素分析を行いました。その結果、OsteopontinやOsteocalcinなどの骨芽細胞系の遺伝子発現に加えて、軟骨系組織に特異的な遺伝子マーカーであるII型Collagen, IX型Collagen, X型Collagenの遺伝子がチタン上で特異的に発現し、酸処理チタン上では機械加工チタン上に比べて、II型Collagenの遺伝子発現が増強されるという結果を見出しました。また、石灰化培養組織はポリスチレン、機械加工チタン、酸処理チタンで異なる形態を示し、酸処理チタンの培養石灰化組織中では機械加工チタンやポリスチレンと比べて硫黄が多く検出されたことを示しました。

オッセオインテグレーションは、光学顕微鏡による観察でチタンと骨組織が直接的に接触することと定義されていますが、分子生物学的なレベルでは明確とはいえません。本研究で得られた所見は、オッセオインテグレーションの獲得に軟骨内骨化のメカニズムが関わっている可能性を示唆しており、さらに検討を重ねていきたいと考えております。ありがとうございました。

第38回学術大会時の 発表賞受賞者一覧

第38回学術大会で以下の先生方が発表賞を受賞されたので紹介します。

学会優秀研究発表賞

山田 陽一氏(名古屋大学医学部附属病院)

熱田 生氏(九州大学大学院歯学研究院
口腔機能修復学講座咀嚼機能
再建学分野)

デンツプライ賞

佐野 将史氏(大阪大学大学院歯学研究科
顎口腔機能再建学講座歯科補
綴学第二教室)

鎌田 浩一氏(広島大学大学院医歯薬学総
合研究科顎口腔頸部医科学講
座歯科補綴学研究室)

学会奨励論文賞受賞者



田崎純一
北海道医療大学
口腔外科学第二講座

生体材料としてハイドロキシアパタイト (Hydroxyapatite : HAp) や β -TCP (β -tricalcium phosphate : β -TCP) が使用されてきましたが、従来の HAp は非吸収性材料であることから既存骨との均質な置換は困難であり、 β -TCP は臨床的治癒後も数年間生体内に残存するといわれています。われわれは以前より骨の形成に伴って吸収・置換する吸収性材料の研究を行ってまいりました。そこで材料として着目したのが大量に廃棄されておりますウシ骨であります。ウシ海綿骨を 800°C で段階的に焼成し、酸処理後にウシ皮質骨由来のアパタイトを表面に析出させることで微細な表面と傾斜機能構造を有する傾斜機能アパタイト (functionally graded hydroxyapatite : fg-HAp) を開発致しました (特許第 3718723 号)。今回インプラント学会誌におきまして fg-HAp は生体内で崩壊特性と強い骨誘導能を有することを御報告致しました。fg-HAp に Bone Morphogenetic Protein-2 (BMP-2) を添加した実験では、ウシ骨を焼成したのみの True Bone Ceramics と比較して 1/10 の BMP-2 量でほぼ同量の骨を誘導致しました。これは BMP-2 を臨床に応用する際に BMP-2 の使用量を減らすことができ、コスト面におきましても非常に重要な特性であると思われます。

近年再生医療関連の研究が盛んに行われておりますが再生医療においてよりよい担体を使用するのは必須条件であり、今回小生の論文を選出下さった川添先生、査読頂きました先生方、インプラント学会関係者の皆様方に心より御礼申し上げます。



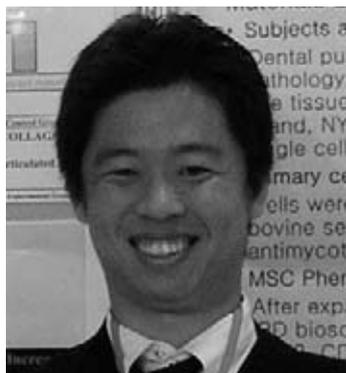
新井是宣
大阪歯科大学
有歯補綴咬合学講座

この度は、平成 20 年度日本口腔インプラント学会奨励論文賞を受賞させて頂き、大変光栄に思っております。また、選考して頂いた諸先生方に感謝申し上げます。

研究計画立案当初は、インプラントの骨内安定指数である ISQ 値の一次手術時での値を重要視していました。インプラント埋入部位別・インプラント形態別・性差別等の比較検討を行っていました。しかし、データを集積していくなかで興味ある知見を得ました。それは、一次手術時での値が低いインプラントほどその後大きく値が上昇するという事です。インプラント治療を行っていくなかで、初期固定が良好ではなく不安な経験をしたことのある私自身には、客観的なデータとして証明できたことは喜ばしいことでした。このことも一因となり、論文中に述べた『ISQ 値は、値の大小をもって絶対評価するのではなく、同一のインプラントを経時的に追跡してインプラントの安定性を評価すべきである』との結論に至りました。また、本研究から感じたことは、個々のインプラント形態により、個々固有の ISQ 値の正常範囲が存在するのではないかということです。その存在を解明することを今後の研究課題と位置づけ、日々邁進していきたいと考えています。

最後になりましたが、歯科医師・大学院生 2 年目で本研究を開始し、4 年目で本論文が完成しました。当初の稚拙な研究内容から奨励論文賞を受賞することが出来たのは、終始懇切なるご指導、ご校閲賜りました有歯補綴咬合学講座 柏木宏介講師、口腔インプラント科 岩田光生前講師をはじめ諸先生方のおかげです。心からお礼申し上げます。本研究結果が、皆様の臨床の一助となれば幸いです。

学会優秀研究発表賞受賞者



神野洋平
九州大学大学院
歯学府口腔機能修復学講座
咀嚼機能再建学分野

この度は優秀研究発表賞を受賞させていただき、大変うれしく、また光栄に思っております。

我々の研究室では高脂血症治療薬として世界中で臨床応用されている HMG-CoA 還元酵素阻害剤（通称スタチン）の骨形成促進作用に着目し研究を行ってきました。私は日々の臨床から、簡便な骨増生法開発の必要性を感じており、今回、新規ドラッグデリバリーシステム（DDS）を用いたスタチンによる骨増生という研究及び発表をさせていただきました。

本研究では、スタチンの DDS として α TCP 粉末とコラーゲンの複合体を用いました。本複合体は歯科用のセメントを練和する要領で作製可能であり、練和後直ちにシリンジに填入することにより、注射針を用いて骨上に注入することができます。スタチンを追加した複合体を注入した群において複合体周囲の骨（ラット頭蓋骨）に有意な骨添加が認められたことより、今回考案した複合体はスタチンの DDS として有効であることが明らかになりました。さらに、特筆すべき点は、今回用いた手技は、歯科医師にとって簡便であり、臨床応用を考えたとき患者様への侵襲も少ないことより、骨増生の新しい臨床術式へのブレークスルーとなる可能性が示唆されたことにあります。

今回の発表内容は、私が目指す簡便な骨増生法開発への第一歩であります。臨床応用に向けてさらに研究を進め、1 日でも早く臨床家の先生に役に立つ術式の提案ができればと考えています。

最後に、研究の指導をしていただいた先輩方、そして支えてくれた後輩達に深く御礼申し上げます。



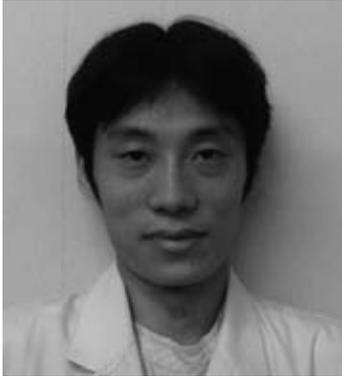
吉田有里
徳島大学大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔学顔面補綴学分野

この度、第 37 回日本口腔インプラント学会学術大会優秀研究発表賞を受賞させていただき、まことに光栄であり、心より感謝申し上げます。

またご選考いただいた諸先生方には改めて深謝いたします。本研究は、近年インプラント治療における画像診断において注目されている小照射野歯科用 CT 撮影での被曝線量について調査したものです。小照射野歯科用 CT 撮影では医科用 CT とは異なり、①被曝線量分布が不均一であること、②全体的には医科用 CT より被曝線量が低いものの、部分的には医科用 CT とほとんど差がない部位がみられ、2 回以上の撮影では医科用 CT より被曝線量が高くなる部位が存在する可能性があること、③撮影部位によっても被曝線量分布が異なることを明らかにしました。画像測定精度に関しても、医科用 CT とは異なる性質を有することを第 117 回日本補綴歯科学会学術大会において報告しております。小照射野歯科用 CT 装置の有用性は高いと考えられますが、このようにさまざまな条件によって被曝線量分布および画像測定精度が変化することが明らかとなりましたので、最適な撮影条件を考案し、インプラント治療のガイドライン作成に役立てるために今後も研究活動に精進していく所存です。

最後に、研究に際して終始懇篤なご指導・ご鞭撻をいただいた本学歯科放射線学分野菅田栄一教授、ならびに本研究の機会を与えてくださり、ご指導・ご高閲を賜りました本学口腔顎顔面補綴学分野市川哲雄教授をはじめとする諸先生方に心より厚く御礼申し上げます。

デンツプライ賞受賞者



長谷川巧実
神戸大学大学院
医学系研究科外科系講座
口腔外科学分野

第37回日本口腔インプラント学会でのポスター発表で、デンツプライ賞を受賞させていただくことができ、大変光栄なことと考えております。

演題は「 β -リン酸三カルシウム (β -TCP) 内への骨髄幹細胞 (BMSC) 導入方法と骨形成能の検討」です。私は歯科医師でありながら、医学部口腔外科という恵まれた環境のため、整形外科の研究グループに所属させていただいております。この研究は整形外科研究グループでさせていただいたテーマであり、歯科においても β -TCPなど人工骨補填材料に骨髄幹細胞 (BMSC) を導入した複合体が骨再生分野において近年、注目されておりました。しかし、その導入方法については詳細に検討されておりませんでした。今回、様々な導入方法を比較検討し、従来より高い骨形成能を示す方法 (syringe system) を報告させていただきました。整形外科の研究グループに所属させていただいたことは、本当に運がよかったと思っており、今回、受賞できたことも、もちろん私一人の力ではなく、共同演者の大江先生の多大な御尽力と三輪先生をはじめ酒井先生、新倉先生、岩倉先生、渋谷先生、黒坂教授、古森教授の御指導によるものだと考えております。この受賞を励みにさらなる精進を続けていきたいと考えております。ありがとうございました。



大堀ことは
北海道大学大学院
歯学研究科口腔機能学講座
口腔機能補綴学教室

この度、平成20年度デンツプライ賞を賜り、大変光栄に存じております。

今回用いましたカーボンナノチューブ (CNTs) は、物理的・化学的特徴から、近年様々な分野で注目され、応用・実用化されています。CNTsは、タンパク質等を吸着することが報告されており、我々は、これまでCNTsの生体材料への応用を目的に研究を行い、CNTs上で骨芽細胞を培養すると、増殖が促進され、細胞はCNTsに強固に固着することを報告しました。また、軟組織への埋入実験を行い、起炎性が弱いことを報告しました。このような結果をもとに、本研究においては、CNTsをGBR膜へ応用することを考案し、今回、CNTsを用いたGBR膜の試作とラット頭頂骨に形成した骨欠損部への応用について報告しました。試作のGBR膜は、CNTs分散液をポリカーボネイト膜で吸引ろ過することにより、CNTsを固着させて作製しました。これを、ラット頭頂骨の骨欠損部へ応用した結果、ポリカーボネイト膜に固着したCNTsに直接接して骨組織が形成されており、このことからCNTsは骨に対して良好な適合性を有し、骨形成過程を障害しないことが示され、CNTsのGBR膜等への応用の可能性が示唆されました。これまで、臨床的に吸収の進んだ顎堤に対する処置を目的として研究を進めてきましたが、今後も、臨床応用を視野に入れて研究していきたいと思っています。

最後に、本研究を御指導頂きました横山敦郎教授、CNTsの膜の作製にあたり御協力頂きました、本学口腔健康科学講座生体理工学教室の巨理文夫教授、赤坂司助教、青木尚史先生、東北大学大学院環境科学研究科の佐藤義倫先生、ならびに御協力頂いた当教室の諸先生に深く感謝申し上げます。

指定研修施設紹介

大阪大学歯学部附属病院

施設長 前田芳信

大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学
講座歯科補綴学第二教室

本施設は2007年度に認定された新しい研修施設であるが、当病院におけるインプラント治療の歴史は長い。1951年に歯学部が設立されて間もなくインプラント治療が行われるようになったことはあまり知られていないのではないだろうか。ただ、その当時使用された骨膜下インプラントについては臨床、研究ともに短期間に終わり、本施設で再びインプラントが実施されるに至るには1980年代に主にアメリカを經由してのオッセオインテグレーションの概念の登場と普及を待つことになった。

現在、本研修施設では、口腔外科、歯周、補綴、顎口腔機能部、保存、麻酔、歯科理工などの各分野からの指導医、専門医、認定医ならびに学外からの臨床教授ならびに臨床助教授が参加しての特別講義、セミナーを開催している他、症例検討会を随時実施している。インプラントを希望して来院される患者も増加しているが、学外から紹介で来院されることも多く、骨移植等が必要となる難症例も少なくない。また、現在のインプラント学会の会員としては30名を超えており、その数は増加しつつあるが、大学附属病院という専門職の養成教育機関であることを考慮して、本研修施設で

は以下の目的を達成するための病院組織としての体制を整備しつつある。

- 本院におけるすべてのインプラント治療が安全かつ適切に実施されることを担保するための、準備ならびにモニタリングの実施
- インプラント治療に関わる職員が必要な外科的ならびに補綴的知識と技術を有していることを担保するための継続的な研修の実施
- インプラント治療に関わる情報の蓄積、管理
- 治療経過、成績を集計分析し、治療の質を担保するとともにその結果が公表できるような準備

今後さらに、インプラントセンターを整備して患者のニーズによりスムーズに対応できるようにするとともに、学外の卒業生等の生涯学習の場をも積極的に提供したいと考えている。



2007年に完成した新棟

原則として左側の1階の中央手術室で外科処置は行われる

平成20年度ケースプレゼンテーション試験合格者

岡田昌通, 福嶋 透, 鈴木康司, 清水礼子,
丸藤雅義, 塚田真二郎, 吉谷正純, 細谷真人,
祐田 彰, 野村素之, 馬場 清, 國本 武,
遠矢東誠, 鈴木健造, 塚田正寿, 村田 充,
岩城正明, 渡辺禎之, 飯野雅一, 佐村克利,
猪木一雄, 福井直人, 鈴木 龍, 伏見幸男,
渋谷麗奈, 山田陽一, 古味伸一, 小野喜徳,

野村明広, 英保裕和, 五十嵐崇恭, 前田 亨,
松本恭宜, 加藤 強, 老川秀紀, 米田隆紀,
高橋直也, 村井睦彦, 松井 力, 森山広之,
長谷川雄士, 遠藤富夫, 村山大悟, 中島 克,
水野直紀, 米山俊之, 小羽田敦正, 有輪理彦,
西中寿夫, 川瀬恵子, 金田 恒, 詫間俊夫,
高橋 啓, 関本浩貴, 竹島明道, 蛭間信彦,

関 啓介,	糸尾尚浩,	石井聡至,	平井友成,	一柳あゆみ,	松村眞次,	大串 博,	近藤雅浩,
金田和彦,	大友正和,	鳥羽修平,	渋谷光広,	金内洋光,	高田利章,	鈴木恭典,	濱田宏隆,
今宮克明,	佐藤善徳,	金子昌豊,	仲西康裕,	石井弘之,	岩淵雅諭,	山本勝己,	村上 洋,
小沢 博,	柴田慶郎,	藤本幸永,	萩原鉄也,	目黒憲治,	園山 亘,	清水誠治,	栗原和博,
高田敬万,	今井勝己,	内藤尊文,	関根秀志,	藤田 融,	竹内一夫,	荒川 光,	樋口大輔,
堀内俊克,	渡瀬基之,	鈴木 一,	瀧 俊之,	村上文彦,	川崎清嗣,	古原優樹,	岡部千香夫,
佐藤 奨,	助川 洋,	田中秀樹,	諏訪裕彦,	中川 整,	由良公二,	鈴木秀紀,	岡本俊宏,
高藤恭子,	柏崎 潤,	岩田 洋,	中田秀美,	山本英貴,	松賀正考,	森岡千尋,	山田麻衣子,
糸野勇二,	南部里恵子,	中村公久,	完山 学,	伊藤秀俊,	横山伸夫,	熊坂 士,	近藤尚知

新入会者紹介

(平成 20 年 6 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

瀬在蘭子,	黒木健次郎,	内木唯詞,	山本俊郎,	永光宏吏,	山王美保,	宮本雅弘,	竹内弘二,
鈴木美緒,	小林瑠美,	松村東栄,	岡崎秀徳,	五嶋友絵,	柴田昌美,	岩田照禎,	安藤清文,
内田裕美,	畑岡いづみ,	上田育伸,	高井裕史,	榊原英史,	青山栄一,	岡島雅代,	荒井邦夫,
春日 愛,	宮崎裕之,	佐野公人,	角川由香李,	染谷真央,	棚橋千恵,	小澤高広,	中井大史,
阿部哲也,	中山綾子,	武山秀子,	高柳依以子,	林 文仁,	吉崎史展,	小内あゆみ,	沼澤秀之,
新井孝彦,	廣田明人,	藤縄 司,	久保琴絵,	國吉弘好,	松本篤樹,	石下義彦,	大八木孝昌,
佐藤直毅,	比留間輝紀,	飯島俊彦,	佐藤友保,	西村紳二郎,	一瀬浩隆,	山崎 卓,	百瀬康仁,
川崎律子,	松木沙織,	南 弘子,	竹内純一郎,	佐藤孝太郎,	吉田和夫,	行木隼人,	安間信之介,
山野邊元隆,	浅井裕幸,	高田将成,	後藤有志,	池田淑永,	嵯峨亜矢子,	佐藤陽子,	鳥村勇斗,
大塚壮一郎,	後藤礼子,	渡邊麻貴,	昇 直美,	松岡はるか,	深澤智人,	宇都宮眞一,	前田あずさ,
阿部泰彦,	北山高之,	森鼻一浩,	菅野友美,	芳本 忍,	渡部あゆみ,	原田景子,	平澤真弓,
佐々木充,	瀬島淳一,	小泉直也,	清水 龍,	川合実咲,	高橋 薫,	武内佳香,	栗田千佳子,
豊泉 裕,	秋政友紀,	梶田奈穂,	鈴木哲史,	藤江匠摩,	高橋泰清,	前田英治,	久世 真,
中野玲子,	田所信一,	酒井志郎,	黒岩さちこ,	橋口恵称子,	下川育美,	門田親道,	米内 正,
中里好宏,	笹生真紀,	若尾裕子,	高橋良治,	富高優子,	井上裕美子,	三上千明,	鍋島正行,
貝淵信之,	横田卓也,	上田聡子,	山崎浩一,	押谷敏之,	宇田川宏孝,	野田真弥子,	塚田幸恵,
佐野善啓,	佐藤浩史,	志田健太郎,	高橋 敏,	芹澤加奈子,	北野泰啓,	田村仁美,	服部理志,
岩倉准子,	一宮里美,	長田秀和,	石崎 博,	半田允克,	渡邊美和,	奥野勝也,	小林哲也,
伊勢路一恵,	今井昭彦,	眞鍋 悟,	大江 剛,	山口賢一,	堀 芳弘,	山本恵美,	本鍋田千賀,
小澤 亮,	大野清二,	三浦隆裕,	衣袋 久,	小野玲子,	伊島由佳子,	一之瀬達也,	廣岡聖子,
杉村佳洋,	相澤玲子,	鶴原涼子,	上原梢恵,	中野喜博,	西山孝樹,	松浦尚孝,	石丸智視,
能登谷玲子,	嶽北亜希,	鉢田 豊,	水永丈嗣,	大塚保光,	原瀬忠広,	川村 良,	古宇田悠美,
菊地 優,	長山英樹,	岡田 理,	難波法道,	吉岡美奈,	堀俊太郎,	山本健二,	鈴木 洋,
匠原龍太郎,	谷口之規,	卯月 宏,	小野京子,	遠藤茂登男,	武藤高宏,	谷 正明,	樋口敬洋,
堺 亜矢,	高橋英剛,	呉 明憲,	木下武志,	村井亜希子,	木谷憲輔,	吉田直栄,	田治米元信,
高野三枝,	加藤雄大,	越 浩美,	小川真治,	平崎光哲,	中川新二,	高野智史,	脇田珠穂,
塙真樹子,	木本洋介,	宮崎暁男,	向井貴子,	田坂彰規,	高野伸夫,	大神浩一郎,	向井憲夫,
尾崎美香,	川瀬昌一郎,	福田隆光,	江俣壮一,	西 圭,	滝本友香,	松本聖子,	山縣茉莉,
菊地正毅,	藤井英貴,	綿引淳一,	楊 麻美,	石村桃子,	岡崎朋子,	小林真澄,	三井田奈美,
新沼治子,	高須桂子,	新原加奈,	石嶋智美,	利根川幸子,	團野友子,	澤村昌哉,	伊藤真午,

池谷俊和, 大久保恒正, 加藤優美, 表 武典, 工藤麻希, 森本三保子, 杉田裕代, 加藤恭子,
 芦澤晴美, 横井宏一朗, 早川 愛, 宮川久美, 吉田正治, 夏目明恒, 高木啓二, 広嶋 肇,
 今井美賀, 綿屋彩古, 國竹洋輔, 須藤まゆみ, 宮川 晃, 中田淳一, 阪本みゆき, 和知奈津美,
 望月映里, 高城さくら, 古厩かおり, 安倍稔隆, 新町愛子, 工藤寛子, 熊坂俊輝, 山木康充,
 佐藤栄樹, 高井智行, 八巻博美, 請田裕己, 中山友和, 木村好秀, 足立一行, 鈴木康之,
 佐藤静香, 加藤佳奈子, 高野栄之, 片折浩紀, 谷野 弦, 鈴木康秀, 鈴木泰二, 川崎信行,
 土田 淳, 野崎真弘, 大村 誠, 早田真樹, 長濱裕介, 跡部雅彦, 上野美紀, 岡村 悟,
 廣瀬嘉子, 永田鈴佳, 廣瀬摩耶, 菅野与識, 小林奈知世, 青柳 晃, 阿部弘敏, 徳永恭志,
 澁川統代子, 中川 聡, 牛嶋 洋, 後藤喜一郎, 佐伯 隆, 後藤 肇, 辻本修平, 廣瀬亮文,
 藤本亜紀, 大久保萌美, 鳥村亜矢, 押部由佳, 金井武敬, 坂井幹男, 向後敦子, 清水優子,
 伊藤麻弥, 大西千恵, 佐藤朱美, 渡邊浩一, 中村由華, 松島利江, 藤岡和美, 石川久美子,
 中山貴行, 柳澤伸行, 大森義弘, 小池淳美, 谷津麻美, 佐藤真紀子, 柿沼千春, 中野景子,
 小川 淳, 鶴岡和之, 北見修一, 澤野和則, 茂木佳代子, 村上泰敏, 木村明広, 遠藤木綿子,
 福永夕記, 内藤禎人, 北條 彩, 的場博美, 山内隆守, 竹下 知, 下津昭洋, 坂井拓弥,
 寺原香奈, 堀口由美, 鵜狩真寿美, 沼尻陽子, 今田裕也, 兵頭誠治, 小栗卓也, 國島健治,
 田原裕香, 山崎ゆか, 宮本綾子, 岡田祐也, 恩田純夫, 鈴木美奈, 猪狩啓介, 三輪武人,
 澤田克也, 加藤直子, 前田有希子, 諸岡 仰, 伊藤裕也, 大竹靖幸, 鈴木俊男, 内田雅之,
 今寺麻友, 小林真純, 山口美奈, 石橋 淳, 松井元生, 須藤哲也, 河合正樹, 野澤千香,
 永野間彩子, 澤美奈子, 杉山公一, 木村良子, 小堀由加里, 仲俣さやか, 荻井久美, 佐野あゆみ,
 柳下たみ子, 加瀬優子, 青柳宏美, 佐藤亜美, 佐藤みさを, 本宮俊孝, 佐野 聡, 木村友美,
 野口 藍, 飯沼里美, 渡邊佳代, 岩崎三枝, 櫻井健次, 鈴木宏輔, 高橋伸明, 目崎勝弘,
 保田涼子, 長谷川泉, 篠山孝史, 平沼慶一, 野原 学, 漆崎晃圭, 萱島浩輝, 山口聡子,
 中静利文, 松尾瑠美子, 細越弘子, 政岡 彩, 清水裕子, 松橋朋子, 伊藤弥生, 田賀美由紀,
 野々垣龍吾, 増井正大, 島田勝家, 佐久間沙織, 三原真富香, 亀谷好美, 須和千香子, 工藤麻美,
 林山久美子, 岩下由香里, 石井めぐみ, 川野恵美, 西村良子, 有賀正治, 西山春美, 久保田朱美,
 篠塚悦代, 菊地美穂, 橋本明美, 竹村誉子, 前川成男, 馬谷原光織, 関三樹夫, 木村宗雄,
 川添珠美子, 舘 祐子, 石田房子, 岡田直人, 藤野 修, 山路 歩, 鈴木 剛, 北坂卓哉,
 堀本理恵, 松林 瞳, 片岡政喜, 山崎淳子, 井下真己, 島田康司, 橘田亜由美, 古屋えりか,
 絹田宗一郎, 郡 麻耶, 戸谷孝洋, 宮城三郎, 内藤みどり, 徳永みどり, 遠藤優佳, 高橋愛美,
 武蔵 章, 船越光豊, 久野富雄, 藤田智治, 藤本香子, 小田原貴子, 池田香織, 古川美樹,
 梁本盛弼, 早田寿夫, 添田亮平, 中矢賢史, 前田歩美, 伊藤和枝, 伊藤道博, 前田卓哉,
 清水 圭, 山本温子, 高橋邦彦, 入江 智, 緩利佳代, 小川裕平, 今井綾子, 神崎英行,
 廣澤祐輔, 萩原真由美, 川島奈津子, 岩井恵利加, 木村和宏, 毛見勇治, 高橋亜沙子, 和泉 健,
 竹中 崇, 伊藤有花, 今田明日香, 西山克也, 有本江利, 後藤智宏, 伊藤明子, 屋富祖康浩,
 赤松哲次, 岩竹裕子, 小出美希, 島田享典, 高橋由美, 前田幸子, 南 良美, 大塚清美,
 立平香奈江, 細貝光恵, 石井くみこ, 川上朋子, 大山佳子, 加藤和枝, 木本雅也, 岡本智恵,
 下田良美, 中村敦子, 穴田真友香, 近森雅弘, 栗田あかね, 神谷 忍, 丸濱功太郎, 大谷友美,
 日高一枝, 山口由衣, 木村隆富, 土田江見子, 西村郁夫, 岡田康男, 猪狩未央, 井上詠子,
 臼井 智, 丸茂清美, 仙崎昭憲, 長谷川サワ子, 斎藤由里, 高橋洋平, 東 正之, 早坂 秀,
 三瀬健三郎, 細川史郎, 鈴木篤太郎, 坂野正仁, 野宮美帆, 桑原幸夫, 田中秀武, 名倉 努,
 田沼達也, 窪田昌代, 浅野聖子, 小林裕介, 瓜生田達也, 馬淵隆史, 高根寿一, 須山容明,
 天羽大介, 金氏智美, 岩崎弘美, 藤田紫乃, 北島正之, 山田貴志, 吉城倫子, 藤野智佳子,
 渡邊ひとみ, 木下英明, 古屋英敬, 國澤依佐子, 佐田伊織, 溝田隆男, 島崎春樹, 伊藤美奈,
 森島 彩, 白井奈美, 前田清美, 松田恵美, 山崎 仁, 辻中香世, 鈴木国子, 熊谷真理子,

深澤壽紀, 阿部俊武, 世良田麻子, 若杉順一, 袋井直子, 阿部ヒ口, 小柳達郎, 稲葉智弘,
 山本未央, 藤元 綾, 福井達真, 郡司良律, 小那木孝之, 吉橋直弥, 墨 尚, 岡田健一郎,
 石黒愛佳, 横山政宣, 大津尚子, 田村麻理, 大津義重, 渡邊 武, 三輪雅彦, 服部 稔,
 加藤 隆, 小川雅之, 豊岡英一, 稲田信吾, 西野千恵子, 宮崎照子, 七尾由紀子, 川名美穂,
 白石大典, 杉山雅一, 杉本 淳, 宮崎大輔, 大神田理沙, 青木由紀, 井元淳子, 松川直純,
 丹羽俊輔, 林孝太郎, 古市祥子, 槌道あゆみ, 山崎早加, 小川勝久, 高野嘉子, 福岡真弓,
 河野裕美, 磯野亜紀奈, 江頭明子, 秋野徳雄, 滝口順子, 井上浩章, 武田順天, 堀井幸恵,
 重光竜二, 横山大樹, 江田尚弘, 荒井貴司, 稲森美枝, 平沼孝久, 佐藤麻弥子, 津尾由希子,
 菅原佳子, 広岡 綾, 小堀 肇, 柴田考典, 佐藤江里, 小林麻衣子, 吉村啓史, 多田大樹,
 佐藤久美子, 清水 一, 八木正聡, 豊嶋豊敬, 今井邦彦, 関根 淳, 関根 淳, 東海林正大, 石井博文,
 小倉英美, 井ノ内由布子, 熊谷直輔, 宮石佳代子, 長山誠樹, 諸岡朋子, 近藤慎也, 奥平孝史,
 飯塚利晴, 佐々木博和, 室野井飛翔, 山田裕介, 折笠聡樹, 仁木孝行, 山口祐介, 吉野建二,
 赤田千可子, 金才 順, 植木義寛, 高津光永, 平良真崇, 谷口広樹, 野澤依里, 山下 巖,
 折居雄介, 駒澤 誉, 加納 拓, 高橋真紀, 磯川 純, 田村三奈, 石倉あゆみ, 福岡 晶,
 藤原 均, 工藤 努, 高安良剛, 渡辺麻美, 浦田佳代, 巽さやか, 山本琢也, 千田大典,
 松本恵利, 高橋幹生, 工藤 求, 糸永知二, 近藤雅史, 山下健太, 新井勝之, 寺田好輝,
 近持 舞, 蔵富康浩, 若林広隆, 小笠原明弘, 鈴木 章, 溝口 悟, 高田典彦, 石橋輝夫,
 伊藤勝敏, 杉田好彦, 石坂圭識, 瀬戸宗嗣, 綾部孔万, 細谷尚行, 佐藤 司, 佐久間隆,
 森山健太郎, 小波津三奈子, 若島匡人, 國芳秀晴, 菊澤浩一, 須賀重勤, 寺倉 健, 藤松 剛,
 佐野陽彦, 岡本るみ子, 川上 彩, 浅野豊年, 辻村 傑, 赤池 翼, 大久保達人, 藤井敬士,
 佐藤七施, 月居健一, 堀田将利, 小椋麗子, 和泉昌義, 奥野博喜, 奥野博人, 津田浩隆,
 益田秩帆, 溝田由希子, 木村裕子, 田島暢崇, 中根恒治, 飯高由紀子, 藪内美佳, 和田佳子,
 加藤晃一郎, 伊藤秀寿, 山村 聡, 徳富健太郎, 丹羽慎弥, 佐多 勉, 中井巳智代, 立石善久,
 鯨岡創一郎, 野原 通, 田岡法一, 中村雅裕, 小野寺志保, 金 鍾汎, 中島敏文, 稗田彩人,
 岡本崇彦, 尾崎隆海, 佐々木悠介, 堀口絵麻, 伊藤英美子, 内山雅夫, 佐藤佑輔, 渡辺欣也,
 堤記恵子, 平嶺浩子, 福野雅人, 増田尚子, 西村 眞, 野崎 潤, 渡部智浩, 山口高司,
 中川貴晴, 滝川博之, 荻原 真, 齋藤教子, 宮尾昌祥, 渡辺 保, 金澤良太, 酒井岳史,
 近藤圭祐, 西田昌平, 竹田岳史, 李賢 珠, 林 雅輝, 藤田 淳, 樽味 寿, 関志乃武,
 岩崎美沙子, 吉野 綾, 島田明子, 安原つかさ, 土井政人, 村瀬雄一, 木原 敬, 鈴木一義,
 松前 団, 沖山麻里, 齋藤正美, 宮里亜子, 井上 博, 石川 央, 大塚明生, 菅原史朗,
 杉山博美, 益田仁美, 町田理恵子, 笠井宏美, 佐々木浩己, 山田隆利, 菊地 愛, 加藤瑞希,
 内藤嘉彦, 中川貴博, 猪股吉雄, 矢守俊介, 荻原尚樹, 寺島貴史, 園田圭介, 佐々木義雄,
 堀 滋, 小宮山仁敬, 近藤 元, 鈴木玲爾, 小山正人, 長谷川健, 平島智秀, 土田晃太郎,
 西巻 仁, 大亦哲司, 桃井文藝, 豊田美香, 大熊孝明, 松本陽子, 岸本悦央, 長塚 仁,
 能登原裕二, 石井一郎, 宮内正人, 松田倫和, 柳本紳二郎, 田中 明, 岩本雅章, 佐藤詩乃,
 北出将之, 鈴木孝一, 小野大輔, 村上陽一, 岡村俊之, 伊藤真也, 長濱貴昭, 吉田 実,
 金子正利, 柴山拓郎, 吉田浩二, 原 剛志, 大石克己, 清澤 仁, 小松賢一, 高橋 徹,
 大森 悠, 長穂豊一, 佐藤隆夫, 坂本哲彦, 山岡林造, 笠原隆太郎, 平野孝昭, 香坂陽介,
 西濱豪郎, 磯部明夫, 出張裕也, 志賀勇昭, 木村正憲, 鈴木崇之, 信藤智子, 神森秀樹,
 田中康之, 高橋広江, 中山香織, 夏目美奈子, 高泉淳矢, 安藤秀樹, 中吉寛明, 大林 敏,
 折笠靖女, 吉野亮子, 開さち江, 細谷善美, 秋本昌弘, 塚本浩樹, 末永祐敬, 町田真吾,
 山崎 愛, 松本弘美, 渡辺泰輔, 前田裕美, 白瀬 明, 有本絵美子, 藤原沙友里, 勝見雅也,
 丸山由香, 井畑牧子, 柏木綾子, 大牟田千尋, 今西朋子, 西川博之, 上田善朗, 榊原充宏,
 増子弘美, 佐藤亜樹, 山口洋一郎, 小川京子, 金下桂三, MacEntee Michael, 川村幸司,

中山隆司, 安藤智博, 兼松園子, 坂口勝義,
 安部逸世, 山田泰之, 山田紀子, 下川原裕介,
 小林寿隆, 松江善信, 南 昌宏, 朱 麗琴,
 狭山 充, 渡邊威一郎, 村富隆太, 京野千恵子,
 杉本貴彦, 野上堅太郎, 永嶋直道, 高谷将之,
 須ノ内利香, 岡崎真大, 小池英明, 神長 篤,
 寺田昌平, 森田礼菜, 金 創, 加藤 功,
 村田幸一朗, 大門 忍, 内藤久典, 入澤真衣,
 有馬良幸, 續 宏之, 松原 大, 塚本林功,
 森谷幸子, 衣斐 明, 岸 千恵, 前岡舞子,
 中井美緒, 寺田英史, 上野剛史, 嵐山貴徳,
 藺田直志, 本間靖子, 辻 要, 金子博明,
 片山翔一, 檀上貴弘, 井上 聡, 小西 寛,
 和田卓馬, 工藤淳治, 仲里愛美, 平山 満,

北村聡一, 藤原鋼一, 齋藤嘉宏, 福澤 智,
 城 敦哉, 高橋重彌, 平松之典, 木多伸彰,
 磯野久美, 山崎和彦, 扇 和洋, 宮崎 仁,
 矢田部晃, 清水 諭, 野口隆司, 前田晋三,
 大久保裕史, 中出勝久, 奥田美穂子, 飯村健太郎,
 濱田悠子, 勝瀬貴史, 工藤昌人, 尾藤仁美,
 安田麻美, 大須賀数典, 馬場 悟, 村上豊隆,
 檜原 司, 荒平高章, 松井泰成, 横山敦則,
 渡辺 聡, 平野圭亮, 中井順一, 妙中泰之,
 谷内 烈, 高山倫光, 中村雅彦, 田嶋慶太,
 上路直弘, 宮本美千子, 富山明尚, 水川 悟,
 能登加奈子, 南 俊一, 小堀朋美, 高良恒己,
 樋口 渚

(以上 1,048 名)

第3世代

インプラントロジ

日本から世界へ…

マイティスアロー インプラント





B B C

株式会社 ブレーンベース

〒140-0014
 東京都品川区大井1-22-13 米山第2ビル6F
 営業時間 月～土 AM 9:30～PM 6:00(日・祝日休業)
 承認番号 21500BZZ00187000



ASTRATECH
DENTAL

TiOblast®

Micro Thread™

Conical Seal Design™

Connective Contour™

Astra Tech

BioManagement

Complex™

— function, beauty and biology in
perfect harmony —

ASTRA

ASTRATECH



A company in the
AstraZeneca Group

製造販売業者 アストラテック株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-16
 TEL:03-5775-0515 FAX:03-5775-0571 <http://www.astratech.jp>

承認番号 20700BZG00070000
 20800BZG00033000
 20800BZG00034000
 22000BZK01103000
 13B1X00020000004
 13B1X00020000005
 13B1X00020000007

ドクターに+ クライアントに∞

フィクスチャー全面にハイドロキシアパタイト (HA) を
強固にコーティングした **スプライン・インプラントシステム** は、
1回法にも2回法にも対応が可能で、**抜歯即時埋入インプラントへの
応用にも実績がある**ことから幅広い症例に応用できます。

1992年の登場から現在までの約16年間、
スプライン・インプラントシステムは
日本の臨床に確かな実績と評価を積み重ねています。

先進の口腔インプラントシステム

- 承認番号20400BZY00156000
- 承認番号21100BZY00289000

MP-1TM

**SPLINE
DENTAL IMPLANT
SYSTEM**



<p>GTR用タイプIコラーゲン 吸収性メンブレン ●承認番号21100BZY00280000</p> <p>BIOMEND[®] Absorbable Collagen Membrane</p> 	<p>創傷治癒促進コラーゲン製剤 ●承認番号20700BZG00024000</p> <p>CollaTape[®] CollaCote[®] CollaPlug[®]</p> 	<p>非吸収性多結晶 ハイドロキシアパタイト骨補填材 ●承認番号16100BZY00126000</p> <p>カルシタイト Calcitite[®] 2040-12 カルシタイト Calcitite[®] 4060-2</p>  <p><small>*シリンジは2040-12 のみに付属しています</small></p>
--	---	---



MP-1, Spline, Calcititeは、Zimmer Dental社の登録商標です。
BIOMEND Absorbable Collagen Membrane, CollaTape, CollaCote, CollaPlugはIntegra LifeSciences社の登録商標です。
©2008 Hakuho Corporation. All rights reserved.

●より詳しいご説明をご希望される場合、あるいは資料請求、研修案内をご希望の場合は下記までご連絡ください。
東京 03-3265-6251 / 大阪 06-6949-0610 / 福岡 092-261-7100 / 札幌 011-788-6710 ●FAX. ☎0120-118-084

スプライン・インプラントシステムのセミナーを全国で開催しております。詳しくは白鵬ホームページをご覧ください。 ➡ <http://www.hakuho-d.com/>





Explorer™

先生の大切な目を守ります

『覗く』から『見る』へ

スリム&コンパクトな
うれしい日本サイズになって新登場!!
これなら場所を選びません。
月々5万円からの納得価格です。

15倍光学ズーム
17インチデジタルLCDモニター
ハイパワー白色LED
Pentium M 1.73 GHz

これからはモニター画面で『見る』、
デジタル・マイクروسコープの時代です。

高性能PC搭載、フル・デジタルだからこそ
出来るリアルタイムの静止画像・動画録画・
再生・保存機能で、患者さんへの説明も
スピーディ&スマート。

先生の大切な目、肩、腰を疲労から守ります。

許認可番号 13B1X0023700003

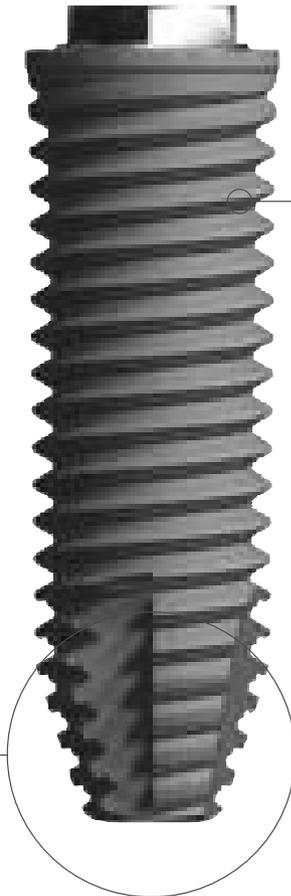
米国カムサイト社 日本総代理店



有限会社 ウェイブレンクス
〒108-0073 東京都港区三田 3-7-16 御田八幡ビル 5F
TEL.03-5439-4919 FAX.03-5439-4918
<http://www.camsight.com/>

待望の新しいインプラント、日本上陸です。

NobelSpeedy™ Groovy



スレッド内部に、さらに70×110μmの
マイクログループを付与。

- ・ 鋭い4つのカッティングチャンバー
- ・ 良好な初期固定
- ・ 即時負荷症例にも適用可能
(P Malo, clin Impl Dent and Relat Res, 2006)

承認番号：22000BZX01457000

新発売

New Lineup

External Connection



NobelSpeedy™
Groovy



NobelSpeedy™
Shorty



Brånemark System®
MkIII Groovy



Brånemark System®
MkIII Shorty

Internal Connection



NobelSpeedy™
Replace



NobelReplace™
Tapered Groovy

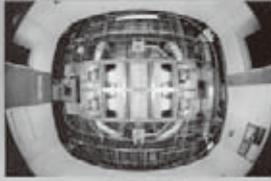


NobelReplace™
Straight Groovy

ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社 TEL 03-6717-6191(代表)
〒108-0075 東京都港区港南 2-16-4 品川グランドセントラルタワー8F www.nobelbiocare.co.jp



院内感染防止・クリーン治療室に
空気清浄ユニットシステム
ダウンフローユニットMDF
Clean Room



販売名 ダウンフローユニットMDF
リース物件名 MDF-1W-CG
標準価格 ¥59,000(月額リース料、期間6年)
※高圧洗浄機は消費税、取扱費、リモコン設置、電源配線、ユニット多様、フィルム交換費が別途です。
※天吊工費代金は別添付です。

清浄度クラス	該当室	主な用途	設置病院
クラス100	バイオフィーム手術室 バイオフィーム調室	人工関節置換術 白内障の手術補助	高橋総合病院(大学病院) 鳥取総合病院(大学病院、がんセンター)
クラス10,000	一般手術室	歯科の感染予防	鳥取総合病院(大学病院、がんセンター) 一般病院
クラス100,000	未熟児室、産科手術室、分娩室、ICU	感染予防	

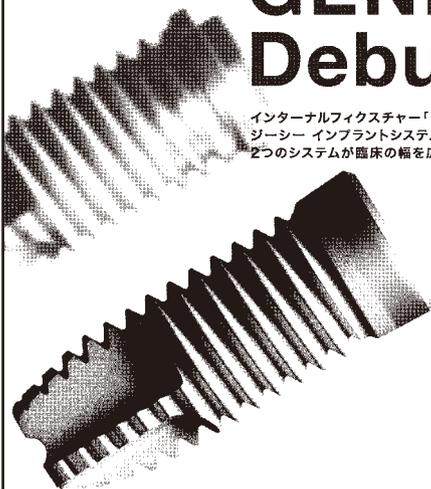
設置例 ● 産科科口野外科クリニック(兵庫県神戸市)、清浄度測定日: 2008.9.10 / 清浄度クラス(NASA209E規格) / クラス10,000

[MDFユニットシステム使用実績]
全国の医科大学/歯科大学/国公立病院/日赤病院/社会保険病院/労災病院/済生会病院/厚生連病院/産科病院/産科病院/船員保険病院/医師会及び民間病院等

方々のご購入は、F.A.Mにて資料、ご氏名、郵便番号、ご住所、お電話番号等を明記の上、お申し込み下さい。
FAX 0465-69-1711

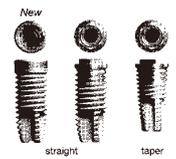
発売元 **株式会社 メディコシステム**
〒259-0311 神奈川県足柄下郡淵野辺町船越216-1
TEL 0465-69-1717 FAX 0465-69-1711

GC
GENESiO Debut



インターナルフィクスチャー「ジェネシオ®」を加えた
ジーシー インプラントシステム™Re(アール・イー)。
2つのシステムが臨床の幅を広げます。

GC IMPLANT SYSTEM Re
internal implant **GENESiO**
external implant **SETiO**



直線 straight
テーパ taper

高圧洗浄機付 209008Z0006000 ジーシーインプラント
高圧洗浄機付 214000Z00100000 ジーシーインプラント
高圧洗浄機付 214000Z00050000 ジーシーインプラント

株式会社 ジーシー
www.gcdental.co.jp/
※掲載は、2007年6月現在のものです。製品の仕様・内容等は、予告なく変更になる場合があります。

BIOHORIZONS
SCIENCE • INNOVATION • SERVICE

HA Implant **One-piece Implant**

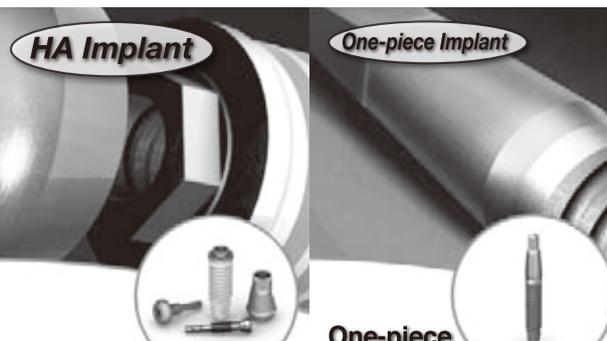
バイオホライゾンス・インプラントシステムは、米国での販売開始から12年目を迎え、インプラント総合国と言われる米国においてTOP10以内の販売シェアを誇る信頼性の高いインプラントシステムです。

External HA Implant System **One-piece 3.0 Implant System**

HAタイプ 販売価格 / 33,000円(税別)
チタンタイプ 販売価格 / 22,000円(税別)

表面処理はHA高密度結晶体がコーティングされています

インプラントの販売価格は、アパットメントを含めた4点セットの価格です。



●インプラント体
●アパットメント
●カバースクリュー
●アパットメントスクリュー

※チタンタイプもご用意
販売価格 / 29,800円(税別)

RBTの表面処理が施されたチタン合金製ワンピースインプラントです。

●アパットメント部は酸化チタンコーティングが施され、審美性を向上させると共にブラークの付着を抑えています。
●アパットメント部分を摩擦接合する際に使用する、プレビングバーが1本付属しています。



φ3.0mm
8mm
12mm
15mm
18mm

※スクリーン構造はNASAで採用されているスパイロロック方式

第1種製造販売業許可番号:13B1X10031 承認番号:215008ZY00354000 承認番号:215008ZY00355000 承認番号:217008ZY00575000
製品についてのお問い合わせは/バイオホライゾンス製造販売元 〒102-0082 東京都千代田区一番町8番地15 一番町MYビル
TEL:03-3238-7560 FAX:03-3238-7561
株式会社 カイマンデンタル <http://www.caimandental.com>

MORITA **SPI System**
Swiss Precision Implant



Welcome to SPI World.

オッセオインテグレーション期間の短縮を目指したインプラント。表面性状 骨生理学への深い理解によって生まれました。

THOMMEN Medical

医療機器承認番号 22000BZX01433000

製造販売 **株式会社モリタ**

大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161
www.dental-plaza.com

問合せ先 **商品本部 インプラント部**
大阪府吹田市江坂町1-23-28 (江坂南口ビル6F)
〒564-0063 TEL:06-6384-6921 FAX:06-6384-6746
東京都台東区上野2-11-15
〒110-8513 TEL:03-3834-6165 FAX:03-3834-2818

目 次

本号のトピックス	
第 38 回学術大会が盛大に開催される	1
第 38 回 (社)日本口腔インプラント学会・学術大会開催報告	2
第 1 回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会開催報告	3~4
第 39 回 (社)日本口腔インプラント学会学術大会案内	5
平成 20 年度名誉会員紹介	6
平成 20 年度表彰者紹介	
学会特別賞受賞者	6
学会優秀論文賞受賞者紹介	7
学会奨励論文賞受賞者紹介	7~8
学会優秀研究発表賞受賞者紹介	9
デンツプライ賞受賞者紹介	10
第 38 回学術大会時の発表賞受賞者一覧	7
研修施設紹介	
大阪大学歯学部附属病院	11
平成 20 年度ケースプレゼンテーション試験合格者	11~12
新入会者紹介	12~15
広告	15~20
目次	20

患者さんが望む サージカルガイド



医療機器製造業許可証 27BZ200092
第3種医療機器製造販売許可証 27B3X00225
医療機器「歯科用インプラント手術導具 (BoneNavi サージカルガイド)」
届出番号 27B3X00225000001

BoneNavi System[®] 特許申請中

サージカルガイドはもちろん、骨切り症例やソケットリフト法、リッジエキスパンション法など先生方のアイデアが反映できるコンピューターガイドッドシステムが完成しました。

- 10DRソフトがデジタル座標指示書として活用可能
- シミュレーション通りにインプラントを埋入可能
- 症例ごとに患者様の要望に合わせた手術が可能
- あらゆるインプラントシステムに対応
- 樹脂で作製した顎骨模型上に模擬埋入が可能

販売元
和田精密歯研株式会社
和も心も美しく

〒532-0002 大阪市淀川区東三国1-12-15 6F
TEL (06) 4807-6700 FAX (06) 4807-6788
HP <http://www.labowada.co.jp>

製造元
BioNIC Bionic 株式会社

〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-1 4
TEL (06) 6322-2029 FAX (06) 6322-2029
HP <http://www.bionic.jp.com/>

広報委員会からのお知らせ

前年度に引き続き春日井昇平（東京医科歯科大学）が委員長を務めます。現在の広報委員会のメンバーは以下の通りです。

委員長：春日井昇平

副委員長：五十嵐俊男

委員：山内六男，嶋田 淳，十河基文，
内藤宗孝，北川 昇，土屋直行

今後とも広報委員会は、ニュースレターとホームページを通じて会員の皆様に学会の情報を素早く正確に伝達するよう努力致しますので宜しくお願い致します。ご意見，ご要望等ございましたら，以下の連絡先にご連絡ください。

〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学 インプラント・口腔再生医学
春日井昇平

電話 03-5803-5934

ファックス 03-5803-5934

メールアドレス：kas.mfc@tmd.ac.jp